

## あいさつ

宮崎県社会教育委員連絡協議会 会長 井崎 高信

向春の候 皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

今年度は、新型コロナウイルスが猛威を振るい、先行きが見通せない状況の中、参加者等の安全・安心を保障する観点から、実施の是非を検討したり、感染リスクをできる限り抑えるための対策を講じたりしながら、本協議会の事業に取り組んでいただきましたことに感謝申し上げます。

さて、皆様はオンライン会議に参加したことはおありでしょうか。システム、仕組みが分からないと何かとおっくうになったり、敬遠したりしがちですが、このコロナ禍で注目されるようになったオンライン会議も、人によってはその一つと感じます。



こういう私自身も、県生涯学習実践研究交流会等、オンラインを活用した会議や研修を見てはいましたが、1月に開催された県社会教育委員会会議で初めて使ったばかりで、テレビに映っているような感覚に緊張した次第です。実際にオンライン会議に参加してみて、距離の制限がなく、画面を通して学びを得ることができるとともに、双方向性があり、人と人のつながりをつくることもでき、社会教育における一つの手段として魅力を感じたところです。

【生涯学習実践研究交流会】ただ、表情や反応が読みづらい場面があり、自分の思いが本当に伝わっているのかと不安に感じるところもあり、オンラインを体験したからこそ、一堂に会し、face to faceで語り合うことのよさも改めて感じました。

先月からワクチン接種が始まり、終息に向けた期待感が膨らんできてはおりますが、来年度も予断を許さない状況は続くと思われまます。また、終息したとしても、すべてが感染流行前に戻るわけではありません。

ぜひ皆様方には、コロナ禍という状況で得た見識を生かして、誰もが安全・安心に学べ、つながりを育むことのできる今後の社会教育の振興にお力添えいただきたいと存じます。今後も皆様方のますますの御活躍を祈念いたしまして、会報29号を発行いたします。

## ご案内

## 令和3年度の各会議・研究大会等の予定

### ◇第1回理事会

- 6月1日(火) 県庁3号館委員会室  
役員改選 協議(総会「議題」審議 他)

### ◇第2回理事会

- 2月8日(火) 県庁3号館委員会室  
令和3年度報告、令和4年度計画

### ◇総会・研修会

- 8月2日(月) オンライン開催
- 内容
  - (1) 総会(事前に審議)  
令和2年度事業実績・決算報告、監査報告  
令和3年度事業計画・収支予算案 等
  - (2) 研修会  
講演予定

### ◇第63回全国社会教育研究大会石川大会

- 10月27日(水)~29日(金)

### ◇第51回九州ブロック社会教育研究大会長崎大会

- 12月18日(土)、19日(日)

### ◇宮崎県社会教育委員研究大会

- 12月10日(金) 西都原考古博物館
- 内容  
県地域文化功労者・社会教育功労者等表彰式  
事例発表 講演等予定

### ◇会計監査

- 3月17日(木)

### ◇地区別研修会(各地区の計画による)

### ◇令和5年度全国社会教育研究大会宮崎大会準備委員会

- 【第1回】8月下旬
- 【第2回】12月10日(金)
- 【第3回】2月8日(火)

※ 予定は変更になる場合があります。詳細は改めてご案内いたします。

# 「社教情報 No.84」の購読、感謝申し上げます！

社教情報の購読ありがとうございました。今回は県全体で 214 冊の購入がありました。

今回の特集は「新しい生活様式下における社会教育委員と関係行政・機関の対応と課題」となっており、コロナ禍における全国各地の社会教育の取組と関係者の思いが掲載されています。

令和 5 年度の全国大会開催に向けて、本協議会としましても、こうした最新情報を参考にしながら、宮崎ならではの社会教育を推進していければと考えていますので、継続して御購読くださいますようお願いいたします。



## ブチ研修:令和2年度「地域における家庭教育支援の取組に関する調査結果」公表

本協議会では、家庭教育に関して、「家庭の日」の推進を実践事項に掲げており、県で提唱されている「親と子の心ふれあう共感活動」等、各地域において意識の啓発や取組を促進していただいておりますことに感謝申し上げます。

今回は、令和 3 年 2 月に文部科学省が公表した「地域における家庭教育支援の取組に関する調査結果」から、コロナ禍での家庭教育支援に係る課題について紹介します。

調査結果では、コロナ禍での家庭教育支援に係る課題について 91% の都道府県が「課題がある」と回答しており、具体的な家庭教育に関する課題としては、「外出自粛による保護者の子育ての負担感や不安感の増加」や「保護者同士の意見交換や共有の場の減少、それに伴う育児の孤立化」、「子供の生活習慣の乱れ、ゲーム依存等の問題」が挙げられております。91% という数字を見ると、確かに重大な課題ではありますが、この質問項目に対する市区町村の回答を見ると、「課題がある」と回答しているのは全体の 61% にとどまっており、「課題がある」と回答した市区町村の内訳を見ると、大都市（政令市、中核市、特別区）が 86%、一般市（大都市以外の市）が 70%、町村に至っては 50% と回答状況に差が見られます。

これらのことから、コロナ禍における家庭教育支援においては、各地域における実態及び状況に応じた方策が必要になることが分かるかと思えます。

ここで紹介したのは、調査結果のごく一部でしかありません。このこと以外にも、「アウトリーチ型支援」や不登校対策、児童虐待の未然防止等、「子供たちの健やかな育ちを支える支援」、外国籍の家庭や子供や保護者が障害を有する家庭等、「家庭環境の多様化に対応した支援」など、現在の取組状況とともに、今後強化していくべき家庭教育支援の取組等が紹介されています。ぜひ御参照ください。

参考：令和 2 年度「地域における家庭教育支援の取組に関する調査結果」（令和 3 年 2 月 文部科学省 HP より）

**5つの共感活動**

キャッチフレーズ：遊食話汗働（夕食は感動）

1. 共に遊ぶ「共遊」活動
2. 一緒に食事をする「共食」活動
3. 1日の出来事などを話し合う「共話」活動
4. 心地よい汗を流す「共汗」活動
5. 親子一緒に働く「共働」活動



## 受賞おめでとうございます！

### 令和 2 年度全国社会教育委員連合表彰

### 令和 2 年度社会教育功労者並びに地域文化功労者文部科学大臣表彰



[全国社会教育連合表彰]

齋藤 容子 様 (日南市)

[社会教育功労者文部科学大臣表彰]

森山 喜代香 様 (綾町)

坂元 晃 様 (都城市)

[地域文化功労者文科大臣表彰]

山田 岳星 様 (宮崎市)

城山神楽祭実行委員会 様 (延岡市)

発行責任者 宮崎県社会教育委員連絡協議会事務局 (担当：兒玉)

TEL:0985-26-7245 FAX:0985-26-7342 E-mail:kodama-sunao@pref.miyazaki.lg.jp